

## 第19回日本招き猫大賞

作品No. 025 「招き猫建造祭」

作品説明：作品名「招き猫建造祭」

(幅 53×奥行 41×高さ 60cm 素材：石粉粘土)

作者：加悦雅乃氏 (Miyano Kaya)

受賞理由：猫たちが自分自身の手で守り神たる巨大招き猫を建造している様子を描いて見応えがある。発想の面白さと大きな作品を破綻無く、すみずみまで神経を行き届かせて作り上げている点が評価された。中心となる招き猫像そのものが美しい修飾を施され気品を感じさせる。巨像のてっぺんで祝いの盃を傾ける親方猫の会心の表情もよい。

作者の言葉：猫の町に猫の職人達が腕によりをかけて大きな招き猫を酒を飲み、笑い、昼寝をしたり、お祭り騒ぎで造り上げている様子です。

### 略歴

神社仏閣の彩色を職業とする父、絵画教室を営む母の元1999年京都で長男として生まれる。2歳から筆を持ちいつも絵を描き遊んでいた。家に猫がいることもあって猫を題材として描くことが多く、小学校6年生の時「ひだまり」という題で猫の絵を描き、第47回新創美術展において初出展ながら尼崎教育長賞を受賞。12歳から猫作家を本格的に目指し、現在18歳にして数多くの絵画賞を受賞する。大胆な構図と繊細な筆使い、父から学んだ伝統的技法を用いながら現代的な感性で表現した猫の絵が評価されテレビや新聞など脚光を浴びる。父から学んだ伝統技法を用い、現代の感性と融合した新しいアートを猫というモチーフで表現し、日本の美を多くの方に感じていただきたいと思います。

1999年

京都に生まれる

2009年

第21回 京都市小学生絵画展 入選

2010年

第22回 京都市小学生絵画展 入選 消防の図画コンクール 金賞（最優秀賞）  
受賞

2011年

第47回 新創美術展 尼崎教育長賞受賞

2012年

第48回 新創美術展 京都市長賞受賞

第3回 二葉葵展に出展（上賀茂神社 庁屋で展示）

関西テレビ「よーいドン！」に出演（となりの人間国宝さんに認定）

京都新聞に「小さな巨匠展」出展の様子が掲載される

2013年

第49回 新創美術展 神戸市教育委員会賞受賞

第4回 二葉葵展に出展（上賀茂神社 庁屋で展示）

NHK「ティーンズプロジェクト フレフレ」に出演

（プラザ修学院のシャッターに招き猫の絵を描く）

町屋ギャラリー 風の倶楽部で「町屋で猫祭り」に出展

京都新聞「都のきらっ人」でネコ作家として活躍する様子が掲載される

大丸京都店「洛猫コレクション」に出展

大丸心齋橋店「猫マルシェ」に出展

京都市役所前手作り市のライブアートに招待される

2014年

ホテル日航大阪に絵画を展示

第5回 二葉葵展に出展（上賀茂神社 庁屋で展示）

大阪京阪百貨店守口店「猫の雑貨展」に出展

愛鳥週間用ポスター原画コンクール 佳作

2015年

大阪京阪百貨店守口店「猫の雑貨展」に出展

松山庭園美術館「猫ねこ展覧会 2015」画廊宮坂賞受賞

ほくさい美術館「猫たちの遊々展」ほくさい美術館奨励賞受賞

京都画材祭りアートグランプリ 入賞

TRUNER AWARD 2015 入選

2016年

そごう神戸店 絵画出展

BIWAKO大賞展 入選

松山庭園美術館「猫ねこ展覧会 2016」松山庭園美術館賞グランプリ受賞

パリ「サロン・ドートンヌ展」 入選

NHK WORLD TV Core Kyoto に出演

猫猫寺ギャラリー 加悦雅乃個展「17歳の軌跡」

第61回 表美展 招き猫の作品を2人の表具師に提供しW受賞

(雅装堂 藤田幸生氏が京都府知事賞 受賞)

(衣川松栄堂方 衣川充洋氏が 京都府商工会議所会頭賞 受賞)

京都高島屋 絵画出展

2017年

阪急うめだ本店 絵画出展

朝日放送 「おはようコール」に出演

舞鶴 赤れんがパーク 絵画展示&ライブペイント

舞鶴市民新聞に掲載される

松山庭園美術館 「猫ねこ展覧会2017」出展

京都新聞に掲載される

大丸芦屋店 絵画出展

ギャラリー・サンクで個展

